

## <主な活動内容>

2024年3月をもって、本部会の活動は終了いたしました。

教育連携部会の活動が発展してきて、若者の国際交流などを行うようになりました。歓迎すべきことですが、国際交流委員会の活動内容と差別化が難しくなりました。2023年度末をもって、教育連携部会の活動を発展的に解消いたします。

### 1. 部会の名称

グローバル人材の育成を目指す教育における連携の重要性を鑑み、且つあらゆる教育的連携（初等から高等教育まで、中高一貫・高大接続、産学官連携、地域連携等）を視野に入れることにより学会としての活動の幅を広げ、本学会専門部会として連携を軸にした教育の重要性をアピールするため。

### 2. 本専門部会の事業内容

- 1) 大会（全国・支部）におけるシンポジウム、ワークショップ等
- 2) 定例研究会等の開催
- 3) 支部間の連携・調整（事務局・関東支部）
- 4) 学会誌への投稿や出版

### 3. 高大連携企画

高大連携・接続の観点から、学会主催で高校生と大学生によるアクティブラーニングプロジェクトを実施する場合、十分な時間をかけてメンバーの英知を結集し、十分な議論を経て、実施計画を立案し、効果検証を行う。中間報告を全国大会や支部大会で発表する。最終的には学会誌において、部会として実践研究報告等として広く会員に情報共有をし、外部への発信を行う。

## <部会員>

部会長：奥山則和（桐蔭学園）

副部会長：高城宏行（玉川大学）

部会企画委員：

伊藤高司（名城大学附属高等学校）

内田富男（明星大学）

大塚圭（中央大学杉並高等学校）

原恵美子（立教大学）

ヘジェダス、ダニエル（城北中学校・高等学校）

村松教子（明治大学付属明治高等学校・中学校）

## <活動記録>

2024年3月 活動を発展的に解消し、国際交流委員会へ

2023年9月 於第7回中部・第8回関西・合同支部大会

教育連携部会企画（実践報告）

「愛知総合工科高校でのグローバル化に向けた初の試み」

発表者：伊藤高司（名城大学附属高等学校）・岩崎政次（愛知総合工科高等学校専攻科）

2022年10月 於第9回全国大会・第2回国際遠隔会議

教育連携部会企画、海外・日本の生徒学生たちによるディスカッション（日本語または英語）

「私たちが考える安心・安全とは - What We Consider to Be Safe and Secure -」

日本・スリランカ・ベトナム・台湾などの生徒・学生約110名が参加

英語ルーム10部屋・日本語ルーム7部屋で実施、後者は日本語を学ぶ学生が主たる参加者

総司会：山田 明（名城大学4年生）

2022年3月 於第9回全国大会・第2回国際遠隔会議

教育連携部会企画、スピーチ・Show & Tell (複言語)

「中高生・大学生による、スマホ時代の国際交流」(自動翻訳機を試験的に導入)

日本・スリランカ・バングラデシュ・インド・台湾の中学生から大学院生まで約90名が参加

総合司会：山田 明(名城大学3年生)

2021年3月 於第5回中部・第6回関西・合同支部大会

教育連携部会企画

「お国自慢 – We Are Proud of Our Whereabouts: Beloved Home, School, Community and the State –」

総合司会：大口真史(名城大学3年生)

司 会：中村美月(名城大学2年生)

松田怜耶(上智大学2年生)

小野寺陸(成蹊大学2年生)

参加校：桐蔭学園高等学校6チーム、明治大学附属明治高等学校

Ananda College, Holy Cross, Royal College, Sirimavo Bandranaike, Visaka Vidyalaya (スリラン

カ)

2021年2月 於第8回全国大会・第1回国際遠隔会議

教育連携部会企画

「JAGCE Youth: U-25 スピーチ大会 – いまを生きる –」

参加校：愛媛大学附属高等学校、鹿児島県立喜界高等学校、桐蔭学園高等学校、明治大学附属明治高等学校

玉川大学、明治大学

喜界島教育委員会外国語指導助手(ニュージーランド)、玉川大学卒業生

2020年11月 オンライン傾聴会議

「あなたの声を聴かせてください：大学教員が聴くコロナ禍で高校生の留学を憂う保護者の声」

パネリスト：Aさん(私立完全中高一貫男子進学校1年生の保護者)

トビタテ！申請も募集自体が中止に

Bさん(高入生がある私立中高一貫進学校2年生の保護者)

中学時短期留学、前年度末の海外研修が中止に

Cさん(高入生・大学附属校2年生の保護者)

多彩な留学機会を求め同校進学も留学断念

Iさん(教育連携部会員・1年生担任)

SSH認定・国際クラスもあり海外研修機会多し

2020年7月 オンライン未来会議

「私たちはコロナに負けない：コロナ禍で留学機会を逸した若者が切り開く未来」

パネリスト：秋元達也(玉川大学2年生)

岡本壮平(玉川大学2年生)

山本真由(玉川大学2年生)

中村美月(名城大学2年生)

森永美雅(桐蔭学園高等学校2年生)

柳 蒼太(高槻高等学校2年生)

布ころ(愛媛大学附属高等学校3年生)

市川 凌(喜界島)

司 会：小野寺陸(成蹊大学2年生)

大口真史(名城大学3年生)

2020年6月 緊急オンライン会議

「コロナで変わるグローバル教育：何が起きて、これからどうなるか？」

パネリスト：竹内典彦（北海道情報大学）

山崎秀樹（北海道立千歳高等学校）

高城宏行（玉川大学）

奥山則和（桐蔭学園）

伊藤高司（名城大学附属高等学校）

近藤佐知彦（大阪大学、留学生教育学会会長）

水口貴之（立命館宇治中学校・高等学校、WWL）

中澤加代（四国学院大学）

佐々木有紀（福岡大学）

西川朋子（文部科学省・トビタテ！広報）

熊沢兼一（IACE トラベル、賛助会員）

2020年4月 異動

部会長：奥山則和（桐蔭学園）・副会長：高城宏行（玉川大学）

2019年12月 於第6回全国大会（芝浦工業大学芝浦キャンパス）

シンポジウム

「ボーダーは必要以上に高くないか～高校1年留学者が直面する進路の問題について語ろう～」

パネリスト：奥山則和（桐蔭学園）：問題提起

高城宏行（玉川大学）：高大接続カリキュラム研究

西川朋子（文部科学省）：トビタテ！留学 JAPAN 広報担当

宮瀬慎也（法政大学）：入学センター

教育連携・高大連携プログラム

「高大連携におけるサロンの学習の構築」

発表者：伊藤高司（名城大学附属高等学校）・坂本拓登（名城大学附属高等学校2年生）

2019年6月 於第6回関東支部大会（東京都英語村）

第3回高大連携企画

「僕たちはこうして異文化を乗り越える」

参加校：拓殖大学第一高等学校・桐蔭学園高等学校2チーム

成蹊大学・拓殖大学・千葉大学

2018年10月 於第5回全国大会（名城大学）

シンポジウム

「高大連携の理想モデルを探る」

パネリスト：伊藤高司（名城大学附属高等学校）：大学生が高校に戻ってくる連携

川名典人（札幌国際大学）：大学から高校生に活動を提供

高城宏行（玉川大学）：K-16カリキュラムの研究

モデレーター：奥山則和（桐蔭学園）

高大接続連携学生シンポジウム

「学生たちが考えるグローバル化」

参加校：名城大学附属高等学校・名城大学

コーディネーター：伊藤高司（名城大学附属高等学校）

2018年6月 於第5回関東支部大会

## シンポジウム

「2020年からの大学入試改革の課題～英語4技能試験の導入の影響～」

パネリスト：印南 洋（中央大学） \*当日病欠

太田 浩（一橋大学）

奥山則和（桐蔭学園）

村松教子（明治大学附属明治高等学校・中学校）

安河内哲也（英語教育の在り方に関する有識者会議委員） \*当日急遽参加

モデレーター：勝又美智雄（国際教養大学）

2017年9月 於第5回全国大会（北海道情報大学）

## ワークショップ

「グローバル人材育成のためのアクティブラーニング～高大連携による探求学習のススメ～」

講師：内田富男（明星大学）・奥山則和（桐蔭学園）

## シンポジウム

「次期学習指導要領が中等教育と大学に与える影響～国際バカロレア(IB)とイングランドのカリキュラムとの関連性～」

パネリスト：赤塚祐哉（早稲田大学本庄高等学院・日本国際バカロレア教育学会理事）

奥山則和（桐蔭学園・イングランド教員免許保持者）

斉藤 智（桐原書店・検定教科書発行者）

モデレーター：勝又美智雄（国際教養大学名誉教授）

2017年8月 於第4回九州支部大会（西九州大学佐賀キャンパス）

## 一般発表

「『教育連携部会』における高大連携企画の実践報告」

発表者：内田富男（明星大学）

2017年6月 於第4回関東支部大会（中央大学後楽園キャンパス）

## 第2回高大連携企画

「グローバリズム・ローカリズムの視点から見る日本～次世代が考える居心地の良い Greater Tokyo～」

参加校：カリタス女子高等学校・中央大学高等学校・中央大学杉並高等学校

中央大学附属高等学校・中央大学横浜高等学校・桐蔭学園高等学校

明治大学附属明治高等学校

慶應義塾大学・中央大学・明治大学

2017年5月 於桐蔭学園アカデミウム・ポロニアホール

## 特別セミナー

「高校からグローバル人材を目指そう」

講師：勝又美智雄（国際教養大学名誉教授）

2016年12月 於第4回全国大会（大阪大学）

## シンポジウム

「不確実性に求められる英語実践力」

パネリスト：藤原康弘（名城大学）・「グローバル時代」の英語：アクティヴとしての「日本英語」のすすめ

横川綾子（東京海洋大学）・マインドの toughness と英語の sophistication による相乗効果：英語発信力という“武器”の

使い方

奥山則和（桐蔭学園）・トランジションはどれだけスムーズなんでしょうか：アクティブラーニング推進中高一貫校から見える大学受験

司 会：斉藤 智（桐原書店）

2016年10月 異動

部会長：奥山則和（桐蔭学園）・副部会長：金丸紋子（カリタス女子中学高等学校）

2016年6月 於第3回関東支部大会（産業能率大学）

第1回高大連携企画

「グローバルに活躍する女性」

参加校：カリタス女子高等学校・桐蔭学園高等学校  
東京学芸大学附属高等学校・早稲田大学本庄高等学院  
産業能率大学・明治大学

教育連携部会企画

「SSHやSGH-Aの取り組みとグローバル化に対応した能力の育成」

発表者：宮城政昭（東京学芸大学附属高等学校・副校長）

2016年2月 教育連携部会へ改組

部会長：内田富男（明星大学）・副部会長：奥山則和（桐蔭学園）・金丸紋子（カリタス女子中学高等学校）

2015年12月 高大連携プレ企画 於桐蔭学園アカデミウム・ポロニアホール

「『ローカルな社会』の変化から見えるグローバル化の本質を探る」

参加校：カリタス女子高等学校2チーム・桐蔭学園高等学校3チーム  
文教学院大学女子高等学校・桐蔭学園中等教育学校  
東京海洋大学・明治大学

2015年5月 高大連携部会新設

部会長：小松俊明（東京海洋大学）・副部会長：内田富男（明星大学）

部会企画委員：赤塚祐哉（都立国際高等学校）・奥山則和（桐蔭学園）・金丸紋子（カリタス女子中学高等学校）  
佐々木大介（成蹊大学）・佐藤泰正（文京学院女子中学高等学校）・番田清美（産業能率大学）